

第三回国際シンポジウム (ISPlasma2011) 趣意書

H22. 7. 29

国際シンポジウム名	International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials
主 催 (予定)	(財) 科学技術交流財団 /
共 催 (予定)	愛知県、名古屋市、岐阜県、名古屋大学、名古屋工業大学、名城大学、中部大学、(社) 応用物理学会、(社) プラズマ・核融合学会、日本結晶成長学会
協 賛 (予定)	日本学術振興会ワイドギャップ半導体光・電子デバイス第162委員会、(社) 化学工学会、(社) 電気学会、(社) 電気化学会、(社) 電子情報通信学会、(社) 日本化学会、(社) 日本機械学会、日本真空協会、(社) 日本表面科学会、(社) 表面技術協会、放電学会
後 援 (予定)	三重県、岐阜大学、豊橋技術科学大学、豊田工業大学、三重大学、(財) ファインセラミックスセンター、核融合科学研究所、中部経済産業局、(社) 中部経済連合会、名古屋商工会議所、(社) 岐阜県工業会、(財) 名古屋産業科学研究所、(財) 名古屋市工業技術振興協会、(財) 名古屋都市産業振興公社、(財) 岐阜県研究開発財団、(財) 中部産業・地域活性化センター、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会、愛知工研協会、名古屋大学協力会、名古屋工業大学研究協力会、特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会、特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム

【国際シンポジウムの概要】

第Ⅱ期知的クラスター創成事業の主目的である、先進プラズマナノ科学研究の世界拠点形成を図るために、広域化プログラムでは国際連携による基本事業の高度化を行なってきた。この国際連携を促進させ、人的ネットワークを拡充するために、本国際シンポジウムを継続して毎年一回開催する。

【国際シンポジウムの目標 (提案書目標)】

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
参加機関数	6 機関以上 (実績 25 機関)	8 機関以上 (実績 174 機関)	10 機関以上 (修正目標: 150 機関以上)	15 機関以上	20 機関以上
参加者数	100 名以上 (実績 312 名)	200 名以上 (実績 618 名)	300 名以上 (修正目標 600 名以上)	400 名以上	400 名以上

【国際シンポジウムの進め方】

1. 毎年一回、3月に東海地域で開催する。
2. 東海地域が歴史的に高い技術を有するプラズマをコアにした、先進プラズマ、ナノ材料、窒化物に関する成果を発表する国際的な会議とする。
3. 世界的に著名な研究者に招待講演してもらうとともに、共同研究を促進させる。
4. 国内外の主だった機関から産学官連携の成功事例などの発表のセッション設け、先進プラズマナノ科学研究の世界拠点形成の指針として役立てていく。
5. ISPlasma の英語名は、International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials である。
6. 基本的に招待講演、一般講演、ポスター発表とパネルディスカッションを中心に進める。

7. 今年よりできるだけ自立して開催できる国際会議にする。
8. 毎回の委員は前年度最後の組織委員会で確認する。
10. 組織委員会は最低年度三回行う。

【第三回国際シンポジウム開催要領】

1. 開催場所 名古屋工業大学
2. 日時 平成23年3月6日(日)～9日(水)
3. プログラム案 (作成中)

【第三回国際シンポジウム国際諮問委員会】

委員長 東海広域知的クラスター創成事業本部 研究統括 豊橋技術科学大学 副学長 稲垣 康善
顧問 名城大学 特任教授、名古屋大学 特別教授 赤崎 勇

(財)科学技術交流財団 理事長 松尾 稔

東海広域知的クラスター創成事業本部 本部長 加藤 伸一

副委員長

名古屋大学 副総長 宮田 隆司

名古屋工業大学 理事 木下 隆利

名城大学 学長 下山 宏

中部大学 教授 菅井 秀郎

総務委員

(財)科学技術交流財団 専務理事(副本部長) 本間 重満

委員

名古屋大学 教授 高井 治

名古屋大学 教授 河野 明廣

名古屋大学 教授 財満 鎮明

愛知工業大学 教授 澤木 宣彦

名城大学 教授 安藤 義則

豊田工業大学 教授 原 民夫

岐阜大学 教授 三輪 實

三重大学 教授 平松 和政

信州大学 教授 遠藤 守信

東京大学 教授 荒川 泰彦

立命館大学 教授 名西 徳之

千葉大学 教授 吉川 明彦

東北大学 教授 畠山 力三

長崎大学 教授 藤山 寛

大阪大学 教授 福住 俊一

(財)ファインセラミックスセンター 所長 種村 榮

(財)名古屋都市産業振興公社 プラズマ技術産業応用センター センター長 久米 道之

MINATEC (フランス) 所長 J-C. Guibert

成均館大学 (韓国) 教授 J. G. Han

ルール大学ポッフム校 (ドイツ) 教授 U. Czarnetzki

テキサス大学ダラス校 (アメリカ) 教授 M. Goeckner

グルノーブル原子力研究所 (フランス) Dr. B. Daudin

ヘテロエピタキシー応用国立科学研究センター (フランス) センター長 J. Y. Duboz

ローザンヌ工科大学 (スイス) 教授 N. Grandjean

ミラノ大学 (イタリア) 教授 P. Milani
EMPA (スイス) Dr. J. Patscheider
ケンブリッジ大学 (英国) 教授 J. Robertson
西ボヘミア大学 (チェコ) 教授 J. Musil

【第三回国際シンポジウム組織委員会】

委員長 名古屋大学 教授 堀 勝

副委員長

名古屋工業大学 副学長 増田 秀樹

名古屋大学 教授 天野 浩

中部大学 教授 中村 圭二

総務委員

(財)科学技術交流財団 事業総括 大塚 美則

委員

名古屋大学 教授 豊田 浩孝

名古屋大学 教授 齋藤 永宏

名古屋大学 教授 梅原 徳次

名古屋大学 教授 大野 哲靖

名古屋大学 教授 生田 博志

名古屋大学 教授 宮崎 誠一

名古屋大学 特任教授 関根 誠

名古屋大学 准教授 上坂 裕之

名古屋工業大学 教授 江川 孝志

名古屋工業大学 教授 渡辺 義見

名古屋工業大学 教授 江龍 修

名古屋工業大学 特任教授 小田 修

名古屋工業大学 助教 猪股 智彦

豊橋技術科学大学 教授 滝川 浩史

豊橋技術科学大学 教授 若原 昭浩

豊橋技術科学大学 教授 澤田 和明

名城大学 教授 平松 美根男

名城大学 教授 伊藤 昌文

中部大学 教授 池澤 俊治郎

中部大学 准教授 内田 秀雄

豊田工業大学 教授 佐々木 実

愛知工業大学 教授 徳田 豊

岐阜大学 教授 大矢 豊

三重大学 准教授 三宅 秀人

京都大学 教授 北川 進

上智大学 教授 岸野 克巳

東北大学 教授 秩父 重英

九州大学 教授 白谷 正治

大阪大学 教授 節原 裕一

東北大学 教授 山下 正廣

核融合科学研究所 教授 佐藤 元泰

岐阜県機械材料研究所 機械研究部長 佐藤 丈士

岐阜県産業技術センター 主任専門研究員 奥村 和之
岐阜県セラミックス研究所 研究開発部長 横山 久範
(財) ファインセラミックスセンター 所長代理、主幹研究員 平山 司
愛知県産業技術研究所 統括研究員 板津 敏彦
名古屋市工業研究所 参事 平野 幸治
(財) 名古屋都市産業振興公社 プラズマ技術産業応用センター
チーフテクニカルコーディネーター 高島 成剛
ハリマ化成(株) 取締役兼執行役員 筑波研究所長 松葉 頼重
大陽日酸イー・エム・シー(株) 代表取締役社長 松本 功
(財) 科学技術交流財団 副研究統括 野田 正治
(財) 科学技術交流財団 国際連携コーディネータ 吉村 克信

【第三回国際シンポジウム実行委員会】

委員長

名古屋工業大学 副学長 増田 秀樹

副委員長

名古屋工業大学 教授 江川 孝志

名古屋工業大学 教授 渡辺 義見

名古屋工業大学 特任教授 小田 修

委員

名古屋工業大学 教授 江龍 修

名古屋工業大学 教授 岩崎 誠

名古屋工業大学 教授 川崎 晋司

名古屋工業大学 准教授 日原 岳彦

名古屋工業大学 准教授 小澤 智宏

名古屋工業大学 准教授 船橋 靖博

名古屋工業大学 准教授 伊藤 智啓

名古屋工業大学 助教 猪股 智彦

名古屋工業大学 助教 柳生 剛義

(財) 名古屋都市産業振興公社 プラズマ技術産業応用センター

チーフテクニカルコーディネーター 高島 成剛

【第三回国際シンポジウムプログラム委員会】

委員長 中部大学 教授 中村 圭二

副委員長

名古屋工業大学 副学長 増田 秀樹

豊橋技術科学大学 教授 若原 昭浩

名城大学 教授 伊藤 昌文

委員

名古屋大学 教授 堀 勝

名古屋大学 教授 天野 浩

名古屋大学 教授 豊田 浩孝

名古屋大学 教授 齋藤 永宏

名古屋大学 教授 大野 哲靖

名古屋大学 特任教授 関根 誠

名古屋大学 准教授 上坂 裕之
豊橋技術科学大学 教授 滝川 浩史
豊橋技術科学大学 准教授 岡田 浩
名古屋工業大学 教授 江川 孝志
名古屋工業大学 教授 渡辺 義見
名古屋工業大学 教授 岩崎 誠
名古屋工業大学 特任教授 小田 修
名古屋工業大学 助教 猪股 智彦
名城大学 教授 平松 美根男
名城大学 教授 上山 智
豊田工業大学 教授 佐々木 実
豊田工業大学 准教授 熊谷 慎也
愛知工業大学 教授 徳田 豊
岐阜大学 教授 大矢 豊
中部大学 准教授 内田 秀雄
三重大学 准教授 三宅 秀人
上智大学 教授 岸野 克巳
九州大学 教授 白谷 正治
九州大学 教授 桑野 範之
大阪大学 教授 節原 裕一
大阪大学 教授 藤原 康文
東京大学 教授 寺嶋 和夫
東北大学 准教授 金子 俊郎
北海道大学 教授 橋詰 保
福井大学 教授 葛原 正明
大陽日酸イー・エム・シー(株) 代表取締役社長 松本 功
日本電信電話(株) NTT 物性科学基礎研究所 主幹研究員 嘉数 誠
テキサス大学ダラス校(米国) 教授 M. Goeckner
ヘテロエピタキシー応用国立科学センター (フランス) センター長 J. Y. Duboz
西ボヘミア大学(チェコ) 教授 J. Musil

【第三回国際シンポジウム編集委員会】

委員長 名古屋大学 教授 河野 明廣

副委員長

名古屋大学 教授 豊田 浩孝

豊橋技術科学大学 教授 澤田 和明

三重大学 准教授 三宅 秀人

委員

名古屋大学 教授 齋藤 永宏

名古屋大学 教授 生田 博志

名古屋大学 教授 天野 浩

名古屋工業大学 教授 増田 秀樹

名古屋工業大学 教授 江川 孝志

名古屋工業大学 教授 渡辺 義見

豊橋技術科学大学 教授 若原 昭浩

名城大学 教授 伊藤 昌文
中部大学 教授 中村 圭二
岐阜大学 教授 大矢 豊
九州大学 教授 白谷 正治
大阪大学 教授 節原 裕一
東京大学 教授 寺嶋 和夫
東北大学 准教授 金子 俊郎
大阪大学 教授 藤原 康文
北海道大学 教授 橋詰 保
九州大学 教授 桑野 範之
福井大学 教授 葛原 正明
日本電信電話(株) NTT 物性科学基礎研究所 主幹研究員 嘉数 誠

今後のスケジュール(予定)

2009年

12月 Call for Papers 配布開始

2010年

4/17 (土) 第1回組織委員会
5/29 (土) 第1回プログラム委員会
6/M 一般投稿受付開始、HP 開設
8/E First Circular 配布
8/E Registrarion 開始
11/08 (月) 一般投稿一次締切り
11/15 (月) 一般投稿最終締切り
11/30 (火) 査読終了
11/E 第1回実行委員会
12/04 (土) 第2回プログラム委員会 (プログラム最終決定)
12/18 (土) 第2回組織委員会
12/E 最終プログラム HP アップ
12/E Second Circular 配布
12/E 第2回実行委員会

2011年

1/17 (月) Late News 投稿締切り
1/E アブストラクト集確定、印刷開始
1/E Early Registration 締切り
2/E Late Registration 締切り
2/E 第3回実行委員会
3/6-9 ISPlasma2011 -3rd International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials
4/E 第3回組織委員会 (最終報告)
4/E JJAP 特集号投稿締切
6/E 査読終了
10月~2012/1 JJAP 特集号発刊